

OB・OG 紹介



(株)リクルートキャリア
新卒事業部リクルーティングアドバイザー
平成17年度生 原田 亜美 さん

◎ 現在の仕事内容を教えてください。

広島県内の新卒採用をする企業の方々に対し、新卒採用の設計・情報提供することが主な仕事内容です。企業がどんな人材を求めているのか、その人材に対してどんなメッセージを伝えたいか、また、それをどのような方法で伝えるのか、という3段階の設計をお手伝いしています。企業の魅力や特徴、そして仕事内容を把握するために、そこで働いている人に直接インタビューへ伺う事もあります。

◎ 仕事のやりがいは何ですか？

採用が一段落した後に、企業の方々から「ありがとう」「おかげでいい採用ができた」と感謝の言葉をいただくことが、今

の自分のやりがいに繋がっています。また、自分が関わった採用活動から入社した方にお会いして、その方が元気に働いている様子を見ると、とても嬉しくなりますね。

◎ 就職活動におけるポイントはありますか？

自分の「軸」を知ること、つまり、自分のやりたいことや自分の特徴をきちんと分析することが大切だと考えます。それが不十分だと、何を基準に動けばいいのかわからなくなり、行動が不安定になってしまいます。自分が活かせる力をきちんと理解している人は、様々な活動においても活躍が期待できますし、就職活動での企業探しはしやすくなると思います。

◎ 原田さんの軸は何ですか？

自分の考えを相手に押し付けられないことを大切にしています。世の中には様々な考えを持つ人がいるように、各企業によって、考え方や置かれている状況は全然違います。その中で、働く人にも個性があります。これらを踏まえて、相手がどうしたいのかをあらかじめ聞き、その上で話を進めていくことを日々心がけています。だからといって伝えるべき事や自分の考えがぶれないようにすることも気をつけています。自分の考えをしっかりと持ちつつ、他人の意見を受け入れられるようにしたいと思っています。

◎ 学生時代の思い出は？

私は地域科学プログラム所属だったので、里山や動物園に出向くなどといった授業が印象的でした。総合科学部は、入

OB・OG 紹介

学後も専攻の選択を考えることができますよね。それに、選
択肢も豊富なので、そこがこの学部のみだと日々感じてい
ました。私が選択したときは、一年次の時の授業が面白かつ
たので、歴史を専攻しようという気持ちは固かったし、迷い
はなかったです。それが、社会人になって、知識として活か
せているのかはまだわかりませんが、自分の好奇心を養うこ
とにはつながったと感じています。

また、当時は部活やサークルには入っていませんでした、学
部の友達と遊ぶことや、オリキャンなどの恒例行事がとても
楽しかったことを覚えています。オリキャンは、先輩方に迎
えられる側と、逆に後輩を迎える側、両方とも楽しかったで
す。私は迎える側の時、催し物をする係になっていて、友達
と近くのファミリーストランで集まって夜遅くまで話合っ
たことはとても思い出深いです。そのメンバーとは社会人にな
った今でもつながりがありますよ。今でも化けてありま
すか？ 私は化けをやっていたので、新歓などの恒例行事の準
備から本番まで楽しむことができました。

◎ 学生時代の後悔は？



私はあまり学校外に出なかったのですが、課外活動にも参加す
ればよかったと思います。総科は学部内だけでの活動が多く
楽しかった部分もありましたが、授業の一環などで学校外の
人と関わることも重要だったかなと思います。

また、課外での活動の中でも、夏休みなどの長期休暇を
利用して、インターシップへ行っていれば良かったと感じ

ています。近年の傾向として、就職活動の開始時期が遅くな
ってきていますよね。それに合わせて、ここ最近では国全体が
インターシップに力を入れてきています。1年生や2年生
の時からインターシップを受け付けている企業もあるの
で、入学してすぐの段階から将来について考えるのも一つの
選択肢だと思います。あとは、海外旅行などといった、学生
の時しかできない長期の旅行をしたかったです。社会人にな
ると時間が取れない、と先輩に言われていたのですが、当時
は金銭の面も考えて行きませんでした。今になって、そう言
ってくださった先輩の気持ちがわかりますね。行っておくべ
きでした（笑）

◎ 広大生へのメッセージをお願いします。

自分の足で行動し、自分の目で見て、耳で聞いて、考えた
り感じたりして欲しいです。就職活動をする学生と接してい
ると、「私の先輩は、あの会社のことをこう言っていました」
と、他の人の意見を持ち出して話す学生と出会うことがあり
ます。人の意見に耳を傾けるのは大事なことです。ただ、会
社によって求めている人材は様々ですし、また、人によって
合う会社は異なりますので、あなたが同じように感じるとは
限りません。今はインターネットなどで簡単に情報を得るこ
とができますが、不確かなものもありますので、他の人の意
見を鵜呑みにするのは避けた方がいいと思います。自分で経
験したことを通じて、感じたことには素直に従い、自己判断
をしてほしいと思います。

担当 27生 小川 巧

後藤 春菜

佐藤 大志